

4-③ しかる基準は？

■対象：乳幼児～中学生の親

■時間：60分程度

■手法：ランキング

学習のねらい 時と場合に応じた子どもへのしかり方・かかわり方を考えることにより、社会のルールを教えるためのしかる基準について考える。

準備するもの フィルムケース 筆記用具 ワークシート【P.78】
アドバイスタイトム用配付資料

時間	学習の流れ	留意点	準備
	<p>【はじめに】</p> <p>今日は、子どもたちをしかることは、どんな時に必要か、また、どうしかるべきかについて、みなさんと考えてみたいと思います。その前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。</p>		
10分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>①音探し〈P.99〉 ②自己紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれた後、自己紹介をする。 	フィルムケース
35分	<p>《講座の前にルールとマナーを確認しましょう》</p> <p>【ワークショップ】</p> <p>①ワーク1に個人でランク付けをする ②ワーク2にランク付けの根拠を考え、記入する ③他のメンバーの意見を聞いて話し合う</p> <p>④グループごとに発表する</p> <p>⑤まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや判断で、A～Eでランク付けすることを伝える。 ・メンバーでランクが一致している項目とばらつきのある項目を中心に価値観を出し合い、しかる基準について考えるように伝える。 ・話し合いで話題になったことを中心に発表するよう伝える。 ・グループ発表を受けて、気づいたことや感じたことをコメントする。 	筆記用具 ワークシート(P.78)
13分	<p>【ふり返りと分かち合い】</p> <p>①今後の子どもとのかかわり方について、ワーク3に自分の考えを書く ②グループ内で発表し合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己をふり返り、今後について考える時間をとる。 ・全体に広げることができればとりあげる。 	ワークシート(P.78)
2分	<p>【アドバイスタイトム】</p> <p>いかがでしたか？「悪いことは悪い」「いけないことはいけない」とはっきりしかることも、親の役割です。 文部科学省発行の家庭教育手帳には、次のような記述があります。 ※資料 P.113「ずいぶん厳しく叱られたけど、今ではそれに感謝しています」を読む。</p> <p>《講座の最後にルールとマナーの確認をしましょう》</p>		配付資料

4-③ しかる基準は？

①ワーク1に個人でランク付けをする（7分）



では、ワークシートのワーク1をご覧ください。
 どんな時に、どうしかるべきかについて、まず、個人で考えていただきます。
 (ワーク1の「子どもの様子」と「A～Eのランク」を読み上げる)
 では、5分で、「あなた」の欄に、自分の考えや判断で、A～Eのランクを付けてみましょう。

②ワーク2にランク付けの根拠を考え、記入する（5分）

(ほぼ全員が個人のランクを付けたことを確認して)
 みなさんが、ランク付けした理由や根拠は何だったでしょうか。
 ワーク2に考えを書いてください。



③他のメンバーの意見を聞いて話し合う（15分）



グループのメンバーの考えを聞いてみましょう。まず、他のメンバーのランク付けを聞いて、ワーク1の「グループのメンバー」の欄に書き込みましょう。
 全員のランク付けを書き込んだら、メンバーでランクが一致している項目とばらつきのある項目を中心にそれぞれの考えを出し合い、子どもとのかかわり方について考えや思いを出し合いましょう。
 時間は、15分です。後で、グループの話し合いの様子を簡単に発表してもらいますので、代表者も決めておいてください。

※ 必要に応じて、発表用の掲示表を準備しておく。(模造紙・ホワイトボード等)

④グループごとに発表する（6分）

時間になりましたので、グループ発表に移ります。代表の方は、グループの話し合いで中心になったことを簡単に発表してください。



⑤まとめ（2分）



いかがでしたか。
 (例)・どのグループも、子どもに社会のルールを教えるため、しかることは必要だと考えておられました。
 それでは、今日の学習をふり返って、ワーク3に今後の子どもとのかかわり方について考えを書きましょう。

【活用のポイント】

このプログラムは、対象となる親（保護者）の子ども年齢に応じて、ワーク1の項目を変更するとよいでしょう。

ワーク1

下記の項目について、あなたなら我が子にどのようにかかわるかを考え、A～Eでランクを付けてください。

子どもの様子	あなた	グループのメンバー				
①友だちからゲームのソフトをもらってきた						
②地域のボランティアの方にあいさつをしない						
③お店や図書館の中でおいかげっこをしている						
④「仲間に入れて」という子を無視している						
⑤スーパーのおもちゃ売り場の商品で遊びはじめた						
⑥公園で縄跳びをしている子のすぐそばで野球をはじめた						
⑦バスの中で友だちと大声でしゃべりだした						
⑧近所のおじいさんに「くそじい」と言った						
⑨						
⑩						

ランクの目安	Aランク	大声でしかる。
	Bランク	その場でしかり、どうしていけないのかを真剣に伝える。
	Cランク	注意を促す。
	Dランク	とりあえず様子を見守る。
	Eランク	その他 ()

ワーク2 あなたがランクを付けた際の理由や根拠は何でしたか。

ワーク3 今後の子どもとのかかわり方について、自分の考えを書きましょう。